



## 2019年度の県内温室効果ガス排出量について

皆さんは群馬県の温室効果ガス排出量をご存じですか？

2019年度の県内温室効果ガス排出量は、16,752千トンとなり、前年度と比較すると5.7%減少しました。温室効果ガスの約9割を占める二酸化炭素については、前年度に比べ5.9%減少しました。

### 県内温室効果ガスの排出状況

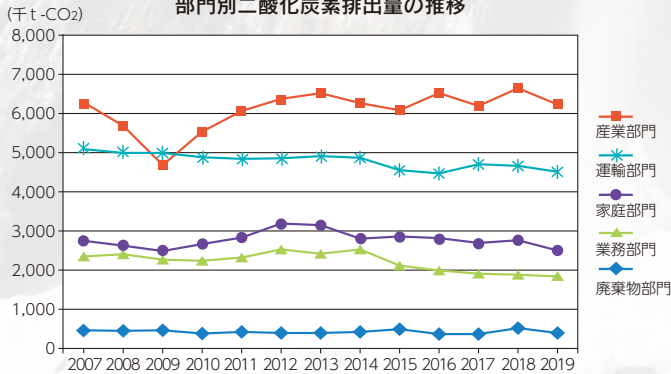
	2007年度（基準年度）	2018年度（前年度）	2019年度		
	排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	排出量(千t-CO <sub>2</sub> )	前年度比(%)	基準年度比(%)
<b>二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)計</b>	<b>17,107</b>	<b>16,583</b>	<b>15,603</b>	<b>-5.9%</b>	<b>-8.8%</b>
エネルギー起源計	16,671	16,102	15,219	-5.5%	-8.7%
産業部門	6,267	6,680	6,223	-6.8%	-0.7%
業務部門	2,392	1,884	1,828	-3.0%	-23.6%
家庭部門	2,762	2,731	2,496	-8.6%	-9.6%
運輸部門	5,079	4,637	4,502	-2.9%	-11.4%
その他※1	171	171	171	—	—
廃棄物部門	436	481	384	-20.2%	-11.9%
メタン(CH <sub>4</sub> )※1	363	363	363	—	—
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)※1	677	677	677	—	—
ハイドロフルオロカーボン(HFC)	94	70	68	-2.3%	-27.2%
パーフルオロカーボン(PFC)	268	38	13	-65.0%	-95.0%
六ふっ化硫黄(SF <sub>6</sub> )	1,045	23	23	3.2%	-97.8%
三ふっ化窒素(NF <sub>3</sub> )		11	4	-65.3%	
<b>温室効果ガス総計※2※3</b>	<b>19,554</b>	<b>17,765</b>	<b>16,752</b>	<b>-5.7%</b>	<b>-14.3%</b>

※1 エネルギー起源CO<sub>2</sub>の「その他」、「CH<sub>4</sub>」、「N<sub>2</sub>O」については、2007年度数値に固定。

※2 項目ごとに四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

※3 温室効果ガス排出量の算定に当たっては、令和2年12月に「都道府県別エネルギー消費統計」の数値が1990年度に遡って改訂されたことに基づき、2007年度の数値を修正しています。

### 部門別二酸化炭素排出量の推移



左図は、群馬県の部門別の二酸化炭素排出量の推移です。産業部門の排出量は長期的に見ると増加傾向となっており、直近では概ね横ばいです。運輸部門、家庭部門、業務部門は、ここ数年は電力排出係数の改善等により、減少傾向となっています。

群馬県では、2050年までに温室効果ガス排出量「ゼロ」などを目指す「ぐんま5つのゼロ」を2019年12月25日に宣言しました。また、この宣言を実現するため、2022年3月15日に「2050年に向けた「ぐんま5つのゼロ宣言」実現条例」を制定しました。

宣言の達成のためには、一人ひとりが問題意識を持ち、日常生活における温暖化防止行動に取り組むことが重要です。事業者の皆様には、各事業所での取組に加え、従業員の皆様の個人や家庭での温暖化防止行動の取組についても、普及啓発を図っていただきますようお願いいたします。

※産業部門：製造業・建設業・農林水産業等  
 業務部門：オフィス・商業・サービス業等  
 運輸部門：運送業・自動車（貨物・旅客）・鉄道等

## 広告

ソリューションの提案で地域社会に貢献します。

**SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS**

**MITSUBA** 株式会社ミツバ環境ソリューション  
 〒376-0122 群馬県桐生市新里町野598  
 TEL: 0277-74-5958 FAX: 0277-74-5973  
 URL: <http://www.t-clover.co.jp>  
 環境分析 労働衛生 材料・不良解析 コンサルティング(ISO・EA21・5S・SDGs)  
 エネルギー関連(電気保安管理・フロン点検・PCB・カーボンニュートラル)

**ALL FOR SMILE**  
 ~ すべては笑顔のために ~  
**桐生信用金庫**

※広告内容については、直接広告スポンサーへお問い合わせください。

※広告掲載を希望する方は、県庁環境政策課 (TEL:027-226-2821) へお問い合わせください。



# COP27開幕～気候変動地獄への爆走を止めよう！

昨年11月にエジプトで開催されたCOP27は、会期を2日延長して閉幕しました。気候変動対策の各分野における取組の強化を求めるCOP27全体決定「シャルム・エル・シェイク実施計画」と「緩和作業計画」が採択され、ロス&ダメージ基金（仮称）の設置と移行委員会の設置が決定されましたが、1.5℃目標達成のための取組強化は合意に至りませんでした。

特に注目したいのは国連・グテーレス事務総長の演説です。「気候変動地獄へと向かう高速道路」という表現で現在の状況を警告しています。以下に主な部分を紹介しますので、ぜひ熟読いただきたいと思います。

（原文は国連広報センター [https://www.unic.or.jp/news\\_press/messages\\_speeches/sg/45423/](https://www.unic.or.jp/news_press/messages_speeches/sg/45423/) に掲載）。



写真提供：IGES 藤野純一氏

## 【開会挨拶より】“私たちには財政的・技術的手段がある！”

「80億人目の赤ちゃん」が成長して、こう問いかけたとき、私たちはどう答えるのでしょうか。

「あなたたちは、私たちの世界のため、私たちの地球のために、チャンスがあったときに何をしましたのですか？」

時は刻一刻と過ぎていきます。私たちは生死をかけた闘いの中にいます。そして私たちは敗北しつつあります。

私たちは、**気候変動地獄へと向かう高速道路を、アクセルを踏んだまま走っている**のです。

(We are on a highway to climate hell with our foot still on the accelerator.)

人間の活動は気候問題の原因です。そのため、人間の行動が解決策にならねばなりません。

人類は協力するか、滅びるかの選択を迫られています。つまり「**気候連帯協定**」と「**集団自殺協定**」のどちらを選ぶかということなのです。

今日、およそ35億人が、気候変動による被害に極めて脆弱な国々で暮らしています。

私たちは厳しい事実を認識しなければなりません。世界中に膨大な苦痛をもたらす壊滅的な出来事が増えていくことに、適応することはできないということです。気候変動がもたらす致命的な影響は、今ここにあります。損失と損害は、もはや覆い隠すことはできません。

気候危機に最も寄与していない人々が、他者が起こした悪行の何倍もの報いを受けているのです。

多くの人々が、事前の警告や準備を行う術もない無防備な状態で、被害に遭っています。

すべての国の政府に対して、化石燃料企業の超過利潤に課税するよう要請している理由もここにあります。その資金を、食料やエネルギー価格の上昇に苦しむ人々や、気候危機による損失と損害に見舞われている国々に振り向けようではありませんか。

**朗報は、私たちが何をすべきかをわかっていて、仕事を成し遂げるための財政的・技術的手段がある**ということです。

今こそ、履行のために各国が団結すべき時です。全面的な国際連帯を図るべき時なのです。

機会の窓はまだ開いていますが、一筋の細い光しか残されていません。地球規模の気候変動との闘いは、私たちの監視の下、(2030年までの)極めて重要な十年間で、勝敗が決することになります。

一つ確かなことは、**あきらめた者は必ず負ける**ということです。ですから共に闘い、勝利しようではありませんか。80億の人々のために、そしてこれからの世代のために。



## G7 各国の NDC (国が決定する貢献 = 温室効果ガス排出削減目標)

	中期目標	長期目標
米国	2030年に▲50-52%(2005年比)	2050年GHG排出実質ゼロ
EU	2030年少なくとも▲55%(1990年比)	2050年GHG排出実質ゼロ
ドイツ	2030年少なくとも▲65%、2040年少なくとも▲88%(1990年比)	2045年GHG排出実質ゼロ
フランス	EUとして2030年少なくとも▲55%(1990年比)	2050年GHG排出実質ゼロ
イタリア	EUとして2030年少なくとも▲55%(1990年比)	EUとして2050年GHG排出実質ゼロ
日本	2030年に▲46%(2013年比)、▲50%の高みを目指す	2050年GHG排出実質ゼロ
英国	2030年までに少なくとも▲68%(1990年比) 2035年までに少なくとも▲78%(1990年比)	2050年GHG排出実質ゼロ
カナダ	2030年までに▲40-45%(2005年比)	2050年GHG排出実質ゼロ

## 【開幕演説より】“地球は緊急治療室にいる！”

今回の COP は正義に向けて、重要な一歩を踏み出しました。

私は、損失と損害（ロス&ダメージ）の基金を設立し、今後運用するという決定を歓迎します。

明らかにこれは十分ではありませんが、壊れた信用を再構築するために非常に必要とされてきた、政治的なシグナルです。

気候危機の最前線に立たされている人々の声を聞かなければなりません。

国連システムは、あらゆる局面においてこうした取り組みを支援します。

**私たちの地球は、いまだ緊急治療室にいます。**

私たちは直ちに排出量を劇的に削減しなければなりません、この問題は今回の COP では取り上げられませんでした。損失と損害の基金は欠かせませんが、気候危機が小島嶼国を地図上から消し去り、アフリカの一国全土を砂漠に変えてしまうようであれば、解決策にはならないのです。

気候野心という点で、世界にはまだ大きな飛躍が必要です。

越えてはならない一線は、私たちの地球が 1.5℃ の気温上限を超えてしまうという線です。

1.5℃ の希望をつなぎとめるためには、私たちは再生可能エネルギーに大規模な投資を行い、化石燃料への中毒を断ち切らねばなりません。

私たちは、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）のワクチンをめぐる競争の際のように、開発途上国が最下位に終わるようなエネルギーの争奪戦を避けなければなりません。

化石燃料に倍賭けすることは、問題を倍増させることです。

COP27 は多くの宿題を残して閉幕しましたが、時間は残されていません。

私たちはすでに、パリ協定と 2030 年期限の中間点にいます。

私たちは総力を挙げ、正義と野心を推進しなければなりません。

これには、気候危機を深刻化させ、種を絶滅に追いやり、生態系を破壊している自滅的な自然との戦争を終わらせる、という野心も含まれます。

私たち一人ひとりが、日々前線で闘わなければならないのです。

共に、気候正義と気候野心のための闘いを、絶えず前に進めようではありませんか。

私たちの命のためのこの闘いに、私たちは勝利できますし、勝たねばならないのです。

## 【COP27 を受けて】GS 認定事業所として何をしますか・・・？

## 1. 省エネルギーの深掘り

高騰するエネルギー価格によるコスト上昇を抑えるためにも、一層の省エネルギーが求められます。建物の断熱強化や照明の LED 化、コンプレッサーの効率化など、エネルギー消費効率の改善を深掘りしましょう。

## 2. 再生可能エネルギーの導入

群馬の豊かな日照時間を活用する太陽光発電は、工場や事務所・倉庫の屋根に設置する「自家消費型」がお奨めです。ソーラーカーポートなど、各種補助制度もあります。また、水力 100%（CO<sub>2</sub> フリー）電力に限定した電力契約プランもあります。新年度に向けて導入を検討しましょう。

## 3. 適応策の検討・導入

昨年 6 月には伊勢崎で二度の 40℃ 超えや藤岡地域での降雪など、気候変動に伴う極端現象がありました。今後も激化が予想される異常気象から従業員や施設・設備を守るための適応策を準備しましょう。

具体的な対策については、省エネ・再エネサポートデスクにご相談ください。

# GS事業者の横顔

## 高信化学株式会社



認定番号 190433  
住 所 高崎市大八木町801  
電話番号 027-361-3221  
従業員数 146名  
事業内容 試薬、工業試薬、原料、分析  
機器など理化学商材の販売  
代表者 代表取締役 高橋 弘樹  
GSマネージャー 勝山 美智代  
GSサブマネージャー 境原 亜沙美

### わが社の一押し

当社は理化学専門商社として、今期で56年目を迎えました。お客様は、研究機関や食品・製薬企業、官公庁等、現在と未来の安心・安全・発展のために努力なさっている方たちです。私たちは、商品を販売するだけでなく、お客様の成功のため、何のためにこういった商品が最適か、こういったお困りごとを解決したいか、お客様に寄り添い、総合的にご提案いたします。取り扱いメーカー様も10,000社以上ありますので、あらゆるご提案が可能です。

お客様の成功・生産性を一番にワンストップで完結する企業を目指しております。

### 現場からひとこと

環境GS認定を取得し16年目に入りました。当社は800人の年間CO2排出量相当の発電ができる太陽光発電所の所有や省エネエアコンやLED照明の積極導入をしております。防災備蓄品などをフードバンクなどへ寄付などもしております。

また、当社が扱っている「ZETA WAVE」は水中に析出した結晶物を配管や熱交換器などへ付着するのを防止します。

スケール付着障害による熱交換効率低下を抑制できるので省エネに貢献し、なおかつスケール対策用薬剤が削減又は不要となることから、クリーン排水も同時に実現します。

## 株式会社コアエンジニアリング



認定番号 303268  
住 所 高崎市倉賀野町2190  
電話番号 027-387-0811  
従業員数 35名  
事業内容 総合建設業  
代表者 代表取締役 黒岩 紀男  
GSマネージャー 黒岩 普広  
GSサブマネージャー 酒井 美幸  
GSサブマネージャー 小川 彩

### わが社の一押し

当社は平成11年の設立以来、群馬県内とその近県における公共土木工事を主たる事業としています。土木工事の中でも特に地下工事を強みにしており、上水、下水、ガス、電線共同溝工事の開削工事や推進工事（非開削工法）を数多く手掛けてきました。

平成26年には社内体制を整備しISO9001およびISO14001の認証を取得しました。今後も、サービスの品質向上、環境負荷の低減等について継続的に改善を図りながら社会インフラの整備に努めて参存です。

### 現場からひとこと

環境に与える影響が大きいものから改善していくべきだと考えています。それは当社の場合、工事の施工です。無駄な作業や手戻りの無い施工を心がけ、環境負荷の極小化を目指しています。また、ゴミの分別や電気の消灯など日々のエコ活動にも注力しています。持続可能な社会を実現するために、社員一丸となって、環境に配慮した事業活動を行って参ります。



## 前橋橋本合金株式会社



### わが社の一押し

当社は1918年（大正7年）に創業し、「多品種少量の高付加価値、高品質製品の開発」をポリシーにアルミニウムという素材を中心に、ステンレスパイプ等を高い気密性を保ったまま鋳込む等、製品の軽量化・高气密化の追求とともに常に次世代を見据えた新技術の開発を続けています。また、NC旋盤、横型・立て型マシニングセンタ等設置した社内併設の工場にて鋳造を熟知した技師が効率的かつ高精度に加工を行い、高品質な製品をスピーディーに仕上げています。あらゆる形状をつくりだす鋳物のプロフェッショナルとして、「プレミアム・クオリティ・キャスティング」を開発方針として、より広範囲な分野の要求に応えるべく、全社一丸となって積極果敢に挑戦を続けております。

### 現場からひとこと

環境GS認定を取得して、継続15年目となりました。

ここ数年でネット環境を整備し、作業要領書、会議資料や報告書等の「ペーパーレス化」を進め資源使用量の削減を図りました。また、「旧型エアコンの入替」、「照明のLED化」、「モニターでの電力量デマンド管理」等により電気使用量の削減を徹底しました。今後とも地球温暖化防止に向けた活動に取り組んでいきます。

認定番号 200568  
住 所 前橋市総社町総社2117-1  
電話番号 027-251-4012  
従業員数 60名  
事業内容 非鉄金属の鋳造・機械加工  
代表者 代表取締役 橋本 実  
GSマネージャー 宮原 一雄  
GSサブマネージャー 生澤 喜昭

## 宮崎歯科医院



### わが社の一押し

当院は前橋市で開業34年目の歯科医院です。地域に根差した歯科医院として、2世代、3世代で通われる患者様もいらっしゃいます。医院の指針としては、患者様とのコミュニケーションを大切に、最善の治療を心がけること、小さなお子さんからご年配の患者様まで、お一人お一人のお口の健康に貢献することなどです。コロナ禍においても自動検温器、高性能空気清浄機、自動釣銭機、オンライン資格確認カードリーダー等を早い段階で導入し、患者様にもスタッフにも万全の感染リスク対策を講じております。これからも、歯医者さんデビューの小さなお子さんから大人まで、笑顔溢れる歯科医院として地域歯科医療の一端を担ってまいります。

### 現場からひとこと

環境GS事業者として認定をいただき14年目を迎えました。現在、予約管理のペーパーレス化、省エネ器具の導入、休憩時間の消灯、使用した器具の電源をこまめに切る、排出ゴミの分別細分化・リサイクル化等に取り組んでおります。これからも、全員でCO2削減のアイデアを出し合いながらエコ活動を推進し、地球環境にやさしい取り組みを積極的に継続してまいります。

認定番号 211085  
住 所 前橋市下新田町590-3  
電話番号 027-253-6008  
従業員数 7名  
事業内容 歯科診療所  
代表者 院長 宮崎 仁志  
GSマネージャー 宮崎 恵美  
GSサブマネージャー 矢嶋 江美  
GSサブマネージャー 大塚 由香里

# ワンポイント アドバイス

## ONE POINT ADVICE

環境GS  
推進員



今回は、  
江原 仁 さん  
からのアドバイスです。

## 海洋のマイクロプラスチック問題とプラスチック新法について

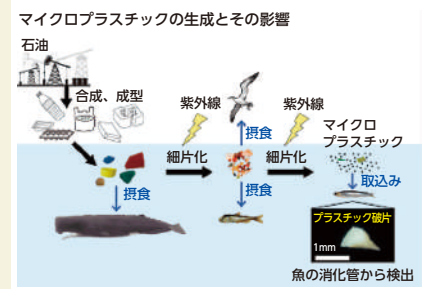
### 1. 海洋のプラスチックごみの増加

最近世界中の海にプラスチックごみが大量に流出し問題になっています。2050年には、海に存在するプラスチックの重量が、地球の魚の重量と同じになると言われています。世界で毎年800万トンを超えるプラスチックごみが海洋に流出し、その半分以上をアジアが占めています。

### 2. マイクロプラスチックによる問題

プラスチックごみの中でも、5mm以下になったものをマイクロプラスチックといい、魚や鳥などの体内に入り問題を起こしています。これらは陸上で発生したプラスチックの破片が主に河川を通じて海に流出し、海で波や紫外線により細くなったもので、合成繊維、タイヤ、人工芝の破片等が多く見つかっています。私たちのNPOが荒川・利根川流域の3河川でおこなった調査では、水1m<sup>3</sup>当たり1～5個のマイクロプラスチックが見つかりました（右下写真参照）。なお、海洋のマイクロプラスチックによる海洋生物に対する影響は、主に以下の2つが挙げられています。

- ①物理的影響：魚や鳥などがエサと間違え、のどや胃にたまったプラスチックによる窒息や栄養不良などの発生。
- ②化学的影響：海水中に含まれる有害化学物質（PCB等）がプラスチックに吸着されることにより、摂取した生物の体内に蓄積し食物連鎖を通じて被害を起こす可能性。



（出典：高田秀重 東京農工大学教授）

### 3. プラスチックごみの問題点

プラスチックは、安い、軽い、強いという長所を持ち、大量に使われるようになりました。日本では1年間に約900万トン（2018年）ものプラスチックが廃棄され、そのうちの60%以上が燃やされています。熱回収を行う焼却処理は、リサイクルの一種とはされていますが、多くの二酸化炭素を発生し、地球温暖化の原因にもなっています。

プラスチックの多くは、石油由来の原料によって製造されており、採掘・生産・廃棄、自然への流出も含め、全ての段階で二酸化炭素を発生させています。

日本はプラスチック容器包装の回収率が高いのですが、日本人1人当たりのプラスチック容器包装廃棄量は、アメリカに次いで世界第2位と多くなっています。

たとえば、ペットボトルの回収率は国内では約90%と高いですが、販売量が約230億本（2013年）と多いため、回収されないものは20億本以上になります。

### 4. プラスチック新法

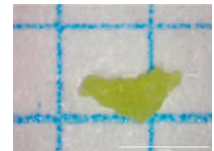
プラスチックごみ問題、気候変動問題、諸外国の廃棄物輸入規制強化等への対応を契機として、国内におけるプラスチック資源循環を促進する重要性が高まってきました。そして2022年4月にプラスチック新法「プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律」が施行になりました。

これまで容器包装リサイクル法によりプラスチック容器の処理が行われてきましたが、今後は製品プラスチック廃棄物などについてもリサイクルを広げようとするものです。また、プラスチック使用製品の設計段階から廃棄物処理までのライフサイクル全般において、プラスチックの資源循環の取組を促進するのが目的です。

### 5. 私たちにできること

プラスチックは、海洋環境に影響を与えるだけでなく、地球温暖化にも大きな影響を与えており、早急に減らしていく必要があります。レジ袋の有料化等の対策も行われていますが、私たちの生活の中でも、エコバッグを携帯したり、ペットボトルの代わりにマイボトルを持ち歩くなど、少しでもプラスチックを減らしていきましょう。以上

W-2 ポリエチレン（破片）



F-1 ポリプロピレン（繊維）



採取したマイクロプラスチックの写真  
（青枠は1mm×1mm）

## 補助金を使って設備更新・導入を～補助金の活用方法～その 31

### はじめに

「補助金を使って設備更新・導入を～補助金の活用方法～その31」をお届けします。今回は、2022年11月に成立した「令和4年度2次補正予算」の中から、主な補助金についてお知らせいたします。本記載内容は公表時点における概要情報であり、変更となる可能性がある旨をご了承ください。詳細については、各事務局HPにてご確認ください。

### 「令和4年度2次補正予算」での主な補助金

#### ●中小企業等事業再構築促進事業

中小企業等が行うポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会の変化に対応した、感染症等の危機に強い事業への大胆な事業再構築の取組を支援します。

類型	補助上限額	補助率
物価高騰対策・回復再生応援枠	1,000万円～3,000万円(※)	中小 2/3(一部 3/4) 中堅 1/2(一部 2/3)
成長枠	2,000万円～7,000万円(※)	中小 1/2・中堅 1/3
グリーン成長枠	【エントリー】中小 4,000万円～8,000万円(※) /中堅 1億円 【スタンダード】中小 1億円/中堅 1.5億円	中小 1/2 中堅 1/3
産業構造転換枠	2,000万円～7,000万円(※) (廃業を伴う場合 2,000万円上乘せ)	中小 2/3 中堅 1/2
最低賃金枠	500万円～1,500万円(※)	中小 3/4・中堅 2/3
サプライチェーン強靱化枠	5億円	中小 1/2・中堅 1/3

(※) 従業員規模により補助上限額が異なります。 <事務局> <https://jigyousaikouchiku.go.jp/>

#### ●ものづくり補助金(中小企業生産性革命推進事業)

革新的製品・サービスの開発又は生産プロセス等の改善に必要な設備投資等を支援します。

類型	補助上限額	補助率
通常枠	100万円～1,250万円	1/2・2/3
回復型賃上げ・雇用拡大枠	100万円～1,250万円	2/3
デジタル枠	100万円～1,250万円	2/3
グリーン枠	100万円～4,000万円	2/3
グローバル市場開拓枠	100万円～3,000万円	1/2・2/3

※回復型賃上げ・雇用拡大枠以外は、大幅な賃上げに取り組む場合に1,000万円上乘せ

<ものづくり補助金事務局> <https://portal.monodukuri-hojo.jp/>

#### ●経営環境変化に応じた重要物資サプライチェーン強靱化支援事業

供給途絶が国民の生存や国民生活・経済活動に甚大な影響を及ぼす重要な物資(半導体、蓄電池、工作機械・産業用ロボット、航空機部素材等)に関し、脱炭素化等の社会課題の解決の実現に資するものも含め、それぞれの特性に応じた、生産基盤の整備、供給源の多様化、備蓄、生産技術の導入・開発・改良、代替物資の開発等の安定供給確保を図るための取組に対し、必要な支援を行います。

<補助率> 1/3～1/2等

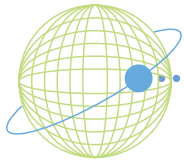
#### 補助金の相談窓口

補助金の相談は群馬県地球温暖化防止活動推進センター(TEL 027-289-5944)まで。事例に精通したGS推進員を派遣しますので、お気軽にご相談ください。また下記サイトでは最新の補助金情報を掲載していますので、参考にしてください。

「ミラサポplus」<https://mirasapo-plus.go.jp/>

文責：環境GS推進員 関 誠





### 電力価格高騰対策・再エネ導入支援事業費補助金

群馬県では、国が令和4年9月に創設した交付金を活用し、エネルギー価格高騰の影響緩和と脱炭素化に向けた取組を後押しするため、「電力価格高騰対策・再エネ導入支援事業費補助金」を新設します。

なお、補助金交付申請の受付は令和5年1月17日から開始します。詳しい要件は群馬県ホームページ (<https://www.pref.gunma.jp/page/100130.html>) をご覧ください。

#### < 補助対象事業の実施期間等 >

令和4年4月1日から令和5年2月28日まで\*

※補助金交付申請の受付開始日（令和5年1月17日）の前日までに契約等済みであっても、令和4年4月1日以降に契約等を行い、令和5年2月28日までに事業完了するもので、他の要件を満たす場合は補助対象とします。

#### < 補助対象者 >

群馬県内の事業所等又は住宅に太陽光発電設備や蓄電池を導入する以下の者

- ・ 購入の場合：中小企業者等\*、個人
- ・ 電力販売契約（PPA）又はリース契約の場合：PPA又はリース契約事業者  
(共同申請者：中小企業者等、個人)

※中小企業基本法に規定する中小企業者、中小企業団体、社会福祉法人、医療法人、学校法人、一般社団・財団法人 等

#### < 補助対象設備・導入方法・補助額 >

補助対象者	太陽光発電設備		蓄電池
	右記以外	PPA 又はリースにより蓄電池とセットで導入	
中小企業者等 (FIT 制度対象外)	4.0 万円 / kW	5.0 万円 / kW	6.3 万円 / kWh
(1 者当たり上限額：1,000 万円)			
個人 (FIT 制度対象)	5.0 万円 / 世帯		10.0 万円 / 世帯

※予算額 20億3,000万円（中小企業者等200者分、個人4,000世帯分を想定）

☆群馬県グリーンイノベーション推進課 (☎027-897-2752)

### 群馬県環境GS認定事業者検索ページを作成しました！



事業者名、市町村、業種から絞り込んで検索できます。ぜひご活用ください！※データは随時更新します。

☆県 HP (<https://www.pref.gunma.jp/page/6281.html>) 中央付近にある「認定事業者検索ページ（外部リンク）」からご覧いただけます。

